

2020年度(令和2年度)使用
福山市立小学校用教科用図書採択結果について

種 目	発行者名	教科書名	採 択 理 由
国語	光村図書出版	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2～6学年「読むこと」の単元では、扉ページに単元の目標を示し、単元末に2つの項目で学習目標を示している。 ○ 第2～6学年「読むこと」の単元では、学習（手引き）を上下2段組みとし、上段は学習過程に沿って課題、下段は上段の課題に取り組むための視点や言語活動の例を示している。 ○ 第1～4学年は上下巻2冊、第5・6学年は1冊構成である。全学年で、複数の領域を相互に関連づけた複合単元を設定している。年間総単元数は、第1学年：7単元、第2学年：9単元、第3・4学年：8単元、第5・6学年：7単元である。 ○ 第2～6学年で、「学習の進め方」、「当該学年で学習すること」（教材名・つきたい力（たいせつ）・学習用語）の一覧、前学年の学習内容を示している。 ○ 全学年で、話し合う単元を1つずつ設定している。第6学年では、自分たちが中心となって行う活動について、目的や条件を明確にし、グループで話し合う活動を示している。
書写	光村図書出版	書写	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3～6学年で、「考えよう」として、整った文字の書き方を考えたり話し合ったりする活動、目標を示している。 ○ 第3～6学年で、「学習の進め方」として「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という学習過程を、各教材の下段に示している。観察や比較を通して整った文字の書き方を考え、実際に書いたり話し合ったりして確かめ、「硬筆のまとめ」で学習したことを生かして書く構成としている。 ○ 書写の歴史については、全学年で「漢字図鑑」として、漢字の成り立ちを示している。第2～4学年で、筆記具の製造法を、全学年で、平仮名・片仮名の表を示している。伝統的な言語文化に関する内容は第2～6学年で示し、いろは歌、俳句、短歌、古文などを取り上げている。 ○ 第3～6学年で、教材文字の右上に穂先の通り道を示した写真を配置し、左下に書き込み欄を設けている。 ○ 全学年で、招待状、手紙、リーフレット、インタビューメモなど、国語と連動したり他教科に生かしたりする教材を2つ以上設定している。第2～6学年の巻末に「資料」として原稿用紙の使い方、都道府県の漢字などを示している。第2～5学年で「やってみよう」として、連絡帳、ノート、ポスターなどの例を書くときのポイントとともに示し、第6学年では、学習したことを日常生活で生かす「書写ブック」を綴じ込んでいる。

<p>社会</p>	<p>東京書籍</p>	<p>新しい社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年で、見開き頁に「どのように～でしょうか」「なぜ～でしょうか」など、1単位時間のめあてを問いかけの形態で示している。 ○ 第3・4学年及び第5学年上巻と第6学年公民で、「学習の進め方」の頁を設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習過程を示している。單元ごとに「学習問題」を示し、表現活動でまとめを行う「まとめる」の頁を設けている。 ○ 自然災害から人々を守る活動について第4学年で取り上げ、静岡県内の地震(18頁)、発展として茨城県常総市の風水害(2頁)、長野県大滝村御岳山の火山災害(2頁)の順に掲載している。 ○ 「まなびのポイント」や「まなび方コーナー」で、学習の進め方や場面に応じた学び方を示している。キャラクターにより、社会的な見方・考え方を4つの視点・方法で示している。 ○ 第6学年では、「調べたことを整理し、せりふを考えて4コマまんがを完成させよう」などとして、図、表、カード、ノート、キャッチフレーズ、パネルディスカッションなどを用いた言語活動を提示している。
<p>地図</p>	<p>帝国書院</p>	<p>楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地図って何だろう」「地図帳の使い方」などで地図帳の使い方として、地図とは何か、地図記号、索引、方位、縮尺、地形表現、土地利用について説明し、具体的な活用の仕方を例示している。 ○ 全般にわたり、キャラクターの吹き出しなどで、図の活用や各地の様子などを紹介している。「広島市の原爆被害状況」など、地域の特徴的な内容を紹介している。 ○ 日本の地方ごとに広く見渡す地図に始まり、日本の地図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、主題図、統計資料、索引と系統的に配列している。日本列島や地方図では、隣接地域の地図が何頁にあるかを記号で表示している。 ○ 巻頭の「地図帳の使い方」で、方位の見方、地図記号、実際の距離の求め方、土地利用の見方、索引の使い方などについて、イラストなどで説明している。索引では、地名の記号、色、列の記号と行の記号による場所の探し方を示している。(索引頁数：6頁／掲載地名数：日本の地名約2,100項目、世界の地名約400項目) ○ キャラクターの吹き出しで、地図の具体的な観察方法や調査方法を示している。「トライ」「地図マスターへの道」で、学び方や調べ方などを示している。

算数	日本文教出版	小学算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4学年「分数」では、「いろいろな分数」「分数の大きさ」など、4つのまとまりで構成している。既習内容を確認する活動を1ページ分設けている。分数の長さを表したテープや水のかさなどで分数の表し方を考える活動を設けている。 ○ 第1学年下巻「さんすうのがくしゅうのすすめかた」、第2～6学年上巻の巻頭「さあ、算数の学習を始めよう！」として、「どんな問題かな」「考えよう」「学び合おう」「ふり返ろう」と、問題解決の過程を4つ示している。 ○ 第5・6学年「はってん中学1年」などでは、中学校の学習内容を位置付けている。 ○ りすのキャラクターや児童の吹き出しなどを手がかりにして、問題解決の見通しや方法を示している。第2学年「たし算とひき算の筆算」では、空き缶拾いの題材を提示し、環境保全・防災に寄与する態度を養えるようにしている。また、目次にあるURLからデジタルコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には、Webマークを全学年で41個示している。 ○ 第4学年「面積」では、方眼上にあるL字型の面積を求める課題を提示している。自分の考えを書いたり、友達の考えを説明したり、自分の考えと友達の考えを比べて、いつでも使える考えはどれかを話し合ったりするなどの活動を設けている。
理科	東京書籍	新しい理科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年で、単元の導入に、「調べていきましょう」や「考えましょう」などの呼びかけの形で、学習のめあてや視点を示している。単元末には、「たしかめよう」を設け、振り返るためのページ番号を示している。 ○ 巻頭に、問題解決の流れとして、「理科の学び方」を設け、各単元では、活動の写真や課題発見までの対話の具体例、「理科のミカタ」で、見方・考え方の視点を示している。 ○ 巻頭に問題解決の流れを示し、巻末に学年の振り返り、理科の調べ方の資料、実験器具の使い方、ノートのかき方、切り取って使う資料を掲載している。 ○ 各学年で、同じキャラクターが「理科の見方・考え方」を働かせるための学習の進め方や活動のヒントを示し、子どもの吹き出しで、疑問を投げかけや対話で示している。各単元で、「問題」「観察・実験」「考察」などを表すマークを設定している。 ○ 巻末に、「発表のしかた」「話し合いのしかた」として、発表や話し合いの際の留意点を示している。「レベルアップ理科の力」では、対話の進め方や内容のヒントとして、吹き出しで児童の対話的活動を示している。

生活	大日本図書	たのしい せいかつ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会との関わりについて、花屋、写真館、図書館、消防署、和菓子屋、美容院で働く人と児童がかかわる様子を写真で示している。自然との関わりについて、上下巻を通して同じ場所の写真を使い、校庭の季節の変化を示している。 ○ 下巻「つくる楽しさはっけん」では、児童6名が運動場でおもちゃを飛ばして遊んでいる写真、児童1名が飛ぶおもちゃを見ているイラストを示している。 ○ 上巻は「なかよし」、下巻は「はっけん」という共通の単元名を設定し、季節の流れに沿った大単元で構成している。スタートカリキュラムに関する内容は、学校生活や総合的・関連的な学習活動、活動時間のめやすなどを、6ページ分掲載している。 ○ キャラクターが、思考や活動、安全上の注意を促している。「風船」マークは課題、「！」マークは安全上の注意、「せいかつことば」マークは語彙力の向上や言語能力の育成、「きらきらことば」マークは仲間づくり、「パソコン」マークは情報がWebページにあることを示し、他教科との関連をマークで示している。 ○ 下巻「わたしの町はっけん」では、見つけたことなどをタブレットや電子黒板で報告したり、クイズ、紙芝居、地図などを使って発表したりする活動を示している。また、調べたことをホームページや町内掲示板で伝える活動を示している。
音楽	教育芸術社	小学生の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名は、見開き左側に縦書きで、「曲のかんじを生かそう」などと示している。学習目標は、見開き左上に横書きで、「曲のかんじを味わってききましょう」などと示している。学習目標達成のための支援として、キャラクターの吹き出しで、知識の習得や理解の深まりをサポートしたり、感じたことや気づいたことを書き込むことのできる欄を設けたりしている。 ○ 音楽づくりでは、第4学年「いろいろな音のひびきを感じ取ろう」の学習目標「音のとくちょうを生かして音楽をつくりましょう」において、音の様子を図形で表した4種類のカードと皮製（4種類）、金属製（3種類）、木製（3種類）の楽器を示している。 ○ 歌唱では、第3学年から二部合唱を導入し、第5学年から三部合唱を導入している。器楽では、合奏曲を第1学年から配置している。 ○ 音楽を形づくっている要素については、見開き右下に、「リズム」「せんりつ」などを示している。全学年巻末の「ふり返りのページ」に、音楽を形づくっている要素に関連するページ番号とともに示している。 ○ 第6学年「詩と音楽の関わりを味わおう」では、学習目標を「人々が大切にしてきた歌を味わい、思いが伝わるように歌いましょう」とし、「『ふるさと』をどのように歌いたいかを考えて、発表し合いましょう」という活動を設けている。

<p>図画工作</p>	<p>日本文教出版</p>	<p>図画工作</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年で、資質・能力の3つの柱に基づいて、題材ごとの目標を3種類のマークとともに示している。学びに向かう力、人間性などの涵養へとつなげるため、活動を通して考えたり感じたりして欲しいことを示している。 ○ 鑑賞題材では、子どもたちが造形的な面白さを感じ取り、自分の見方を広げている情景写真や吹き出しを掲載し、学びを深められるよう構成している。また、「教科書美術館」を、題材ページとは別に設定している。 ○ 各学年で、造形遊び・絵・立体・工作・鑑賞の5つの分野・領域ごとに題材を配列している。題材数は、第1・2学年で47、第3・4学年で46、第5・6学年で41である。 ○ 作品や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントを吹き出しなどで示したり、作品名や大きさ、材料、用具、作者の考え・感想（第3・4学年〈上〉以降）を示したりしている。 ○ 発想や構想、鑑賞の場面において、対話しながら想像を広げたり思いを伝え合ったりできるような写真やコメントを示し、対話を促している。
<p>家庭</p>	<p>東京書籍</p>	<p>新しい家庭 5・6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るため、実習や製作のページには、「できたかな」として、自己評価の囲みを15か所掲載し、ステップごとに「ふり返ろう」を設けている。巻末に、調理実習技能・製作実習技能・地域調べを取り上げた「いつも確かめよう」のページを設けている。 ○ 「生活を変えるチャンス！」では、「A 家庭・家庭生活」の「(4) 生活の課題と実践」と対応したページに、5つの例を掲載している。 ○ 各教科等の学習内容との関連については、「ほかの教科の学習、中学校の学習との関わりをみてみよう」としてマークを示し、教科、学年、単元概要を示している。 ○ 学習上参考となる資料などを、主に「資料」(37個)や「図」のマーク(50個)などで取り上げている。 ○ 生活をよりよくするための方法を考えたり、調べたり、やってみたり、話し合ったり、交流したりする活動を「活動」のマークで示している。
<p>保健</p>	<p>東京書籍</p>	<p>新しい保健</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不安や悩みへの対処に関する実習事例として、「こきゅう法」と「軽い運動」を取り上げている。インターネットを活用し、技能を動画で確認することができるよう、Dマークを設定している。 ○ 各単元の導入で、見通しを持たせるための記述及びイラストを掲載している。学習内容と他教科との関連を示す「つなげよう」を設定している。 ○ 各小単元末に「資料」として、学習内容と関連した児童が知りたい今日的な健康課題の情報を提示している。 ○ 単元「体の成長とわたし」では、本文記述と関連付けたイラスト、写真、グラフを12か所掲載している。自分の体の成長に気付くため、実際の大きさの乳幼児の靴や手形の写真を掲載している。 ○ 単元「こころの健康」では、自分の考えを書く活動を10か所掲載している。不安や悩みへの対処の方法について、自分の生活をふり返ったり、友達に聞いたことを記入したりする活動を設定している。

英語	光村図書出版	Here We Go!	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次と単元の冒頭に学習目標を「～できる」の形で1つ示している。 ○ 「行ってみたい国や地域」に関する単元では、見開きページを活用して、世界地図のイラスト上の10か国について、国名、特徴的な建物や動物、スポーツなどの写真を掲載するとともに、登場人物である英語の先生が児童とやり取りしながら、それぞれの国を紹介する様子の映像を見ながら聞く活動のほか、ゲームを設定し、児童の興味・関心を高めている。 ○ 各単元の終末「Jump!」の「You can do it!」において、習得した知識・技能の活用を促す言語活動を設定している。 ○ 巻末に、第5学年10、第6学年10の資料などを掲載している。 ○ 第6学年Unit7「My Best Memory」では、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動として、一つ目の「Let's try.」で小学校生活の一番思い出に残る行事を友達と伝え合う活動、二つ目の「Let's try.」で思い出に残る行事を行った場所や、そこでしたことなどを友達と伝え合う活動、「You can do it!」で小学校生活の一番の思い出を発表する活動を設定している。
特別の教科 道徳	学研教育みらい	新・みんなの道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発問は、全学年で、教材文の終わりの「考えよう」「ふかめよう」などに記載している。第1学年「はしの上のおおかみ」では、「おおかみは、なぜ、まえよりずっといい気持ちになったのかな」などを示している。 ○ 体験的な学習を取り入れた教材は、全学年で、目次及び該当ページに、「やってみよう」のマークを付けて示している。 ○ いじめ問題を扱った教材には、全学年で、いじめを題材として扱った直接的教材と、いじめを直接的に扱わない間接的教材を選定している。第4学年では、主題名「村の仲間として」で「C-12 公正、公平、社会正義」の内容項目の教材として、「山びこ村の二人」を選定している。 ○ 全学年で、巻頭には「詩」を掲載している。巻末には、「各教材と主題名」として、4つの視点で色分けしたマークとともに、学習指導要領の内容、教材、主題名を掲載している。 ○ 全学年で、巻頭に、「自分のこと」について書く欄を設けている。また、巻末に、「心の宝物」として、学習して心に増えた宝物や心に残った話などを記録する欄を設けている。